



正確な情報と真摯な対話は、  
強い支持に繋がる！

# 多摩市議会議員選挙 立候補予定者との対話集会

— 社会教育施設の尊重を市政に望む —

2019年3月31日(日)

## 事前アンケートの回答 1

2019年3月27日正午まで到着分

回答ナンバー 誤記訂正 (2019年5月12日)

このアンケートは、現職市議のみなさまと、また新聞折込で入手した資料にもとづいて、現職市議 26 名のみなさまには議員ポストに投函し、かつ e メールアドレスを公開されている方には e メールにて、公開されていない方には FAX にてお送りしました。また現職議員でないみなさまについては、新聞折込チラシで入手した情報から、e メールを公開されている方には e メールで、また、e メールを公開されていない方には掲載されている住所に郵送でお送りしました。その他の方でも、昨年度、また 4 年前に類似の対話集会をしたおりに、アンケートに回答くださったみなさまで、e メールアドレスが分かっている方にもお送りしました。

アンケートをお渡しすべきであった方で、私どもの探索力が足らず、お渡しできなかった方がいらっしゃった場合には、申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。



多摩市の社会教育を考える会

## 回答者リスト

(到着順、2019年3月27日正午まで。敬称略。アンダーラインは現職の方)

1 遠藤 ちひろ

2 菊池 克行

3 ~ ~~8~~7 公明党会派

三階 道雄

渡辺 しんじ

あらたに 隆見

池田 けい子

本間 としえ

~~9~~8 小林 憲一

~~10~~9 板橋 茂

~~11~~10 安斉 きみ子

~~12~~11 橋本 由美子

~~13~~12 三井 健

~~14~~13 伊地智 恭子

~~15~~14 大野 まさき

1615 大くま 真一



# 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

## お名前

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

### 1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

### 2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

評価できないところ

### 3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

### 4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
活かされていないと思う点

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

名前      遠藤ちひろ

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 ― 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

「住みたい街ランキングトップ10に押し上げたい」

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

「重要であると考えます」

2. 多摩市政 ― 特に社会教育施設の現状 ― について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

「全校に司書が配置されている」「サークル活動に手厚いサポート拠点を持っている」

評価できないところ

「施設管理と公園街路樹、道路などインフラ施設の費用が文化活動経費を圧迫しているところ」

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

「聖域なく持続可能な財政規律を取り戻すための、市民会議を開催する」

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

③何ともいえない。

理由

住民との対話の最中であり、経過を見守りたいから

- (2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

③何ともいえない。

理由

住民との対話の最中であり、経過を見守りたいから

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。

理由

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

持続可能性

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点

活かされていないと思う点

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前      菊池克行

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 ― 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

若い世代がぜひ住みたいな！と思うようなまちです。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

生き活きとしたまちであり続けるために欠かせないことだと考えます。

2. 多摩市政 ― 特に社会教育施設の現状 ― について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

地域館は子どもから高齢者まで、役に立っていると思います。

評価できないところ

パルテノン多摩の大規模改修に85億円もの巨費を投じようとしていることです。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

地域館は拡充を。パルテノン多摩大規模改修は見直しを。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

行動プログラム発想の原点は、建物の維持管理におカネが掛かる、ということであったと思います。地域館は、その周囲の住民にとって、既に欠かせないものになっています。市の経費削減が目的ならパルテノン多摩の改修は必要最小限の範囲に収め、むしろ地域館の拡充に費用を充てるべきだと考えます。

裏面に続きます。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
市民の高齢化率28%という現状に対応するには地域館の拡充が鍵だと考えています。パルテノン多摩の大規模改修にかかる費用を地域館の充実に回すべきです。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
図書館だから、教育委員会の管轄だ——という考え方を見直す必要があるのではないかと思います。「まちの未来を考える」というチームを作り、従来に捕らわれない考え方で構想を進めたら異なるプランが生まれたかもしれません。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

どれも大切ですが、それぞれの施設を生かす具体的な方策と将来のプランがどこまで練られているのか。市の担当職員の方が現場を実際にマメにご覧になっているのか。運営に関しては「委託」が多いと聞いていますが、ボランティアの活用を大いに増やしたら変わると思います。
--

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
このご質問に関しては具体的にご回答できません。条例は承知していますが、現職の議員の方々から「条例」の言葉を議場（2年間ほど傍聴を続けていますが）で聞いた覚えは記憶にありません。最高規範としながら、憲法のように、そこに照らして考える、というシステムが出来ていないように感じています。
活かされていないと思う点

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前                      公明党

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

●安心・安全、だれもが住み続けられるまち。活力あるまち。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

●健全な精神や肉体を維持向上するには、生涯に際し学習・文化、スポーツは欠かせないもの。また人との繋がり、支え合いにおいても大いに意義がある。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

●駅周辺にあると言う事では多くの市民が利用しやすい。またその補完として各地域にコミセン等もあり充実している。

評価できないところ

●学習・文化・スポーツも時代とともに多様化している。その点については対応出来ていない。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

●若い世代の生活リズムや、価値観は大きく変わっている。若者や子育て世代の声を聞き、現在、また将来にどのような施設が必要なのか検討する必要がある。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

③何ともいえない。当初のプログラムについて、将来の財政を鑑みると総論は賛成である。しかし代替案もなくあまりにも雑駁すぎた。現状、市民との協議は評価するが、改修時期の線引きにこだわらず、地域にとって最良の方向を示していただきたい。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
③何ともいえない。 現在においては、多くの利用団体があり実際に利用している。今、示す時期ではない。 しかし、若い世代の生活リズムや、価値観は大きく変わっている。若者や子育て世代の声を聞き、現在、また将来にどのような施設が必要なのか検討する必要がある。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
①評価する。 図書館はどの世代でも多く利用される施設である。公園内に出来ることは公園や街自体の価値も上がると思われる。ただ運営の在り方については疑問である。市民のサービスや効率・効果をしっかりと検証すべき。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

●何が最もこの事だが、限定は出来ない。財政的なことも含め公正・公平と多くの市民理解、また共感が必要であり、時代に即したものでなくてはならない。
---

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
●おおむね出来ている。
活かされていないと思う点
●管理、運営また財政的な説明も含め、詳細な協議が足りていないと思われる。



(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

<input type="checkbox"/> ①賛成である。	<input checked="" type="checkbox"/> ②反対である。	<input type="checkbox"/> ③何ともいえない。
理由		
公民館は、公民館法に基づき、社会教育施設の根幹をなすものであり、永山公民館と統合して1つにしてしまうことも、パルテノン多摩のように、公民館ではないものにしてしまうことにも賛成できない。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

<input checked="" type="checkbox"/> ①評価する。	<input type="checkbox"/> ②評価しない。	<input type="checkbox"/> ③何ともいえない。
理由		
移転・再整備の場所について、パルテノン多摩の大規模改修がらみで、いろいろと議論があり、計画が遅れたことは残念だったが、今後、着実に計画をすすめていていただきたい。PFI手法は避けるべきである。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

質に関しては、華美なものは排して、改修で長く使うべき。
管理運営に関しては、直営でおこなうことが基本であるべき。文化振興財団に委託しているパルテノン多摩は仕方がないが、現在、指定管理者制度になっているところは、直営に戻すべき。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点 そういう角度で、ふだん、あまり考えたことがないので、よくわかりません。
活かされていないと思う点

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

名前 板橋 茂

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしく申し上げます。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

世界に誇る住宅都市

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

市民の学習・文化・スポーツ活動の推進は、同時に街の文化的・活動的・コミュニティ的発展になる。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

公共施設削減の方針を、市民との協働で進める方向で方針の見直しを行ったことは評価できる。

評価できないところ

公共施設の一方向的削減の方針を出したことは評価できない。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

市民との協働の市制を進める。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

市民の中で、地域図書館と共に地域の街づくりをどう進めるかも含めた話し合いが行われることは大きな前進です。このことで市政への市民の参画が大いに発展することを期待します。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	<b>③何ともいえない。</b>
理由		
<p>私個人としては関戸公民館の存続を望みますが、問題は地域のみなさんがどのように考えておられるかです。市長は当初のプログラムに対して、「この案はあくまでたたき台で、市民との協働で進める」との立場を示しました。その姿勢は変わらないと思います。</p>		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

<b>①評価する。</b>	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
<p>当初の一方的な姿勢から、市民と共に進める立場での取り組みが進められていることは評価したいと思います。しかし、地域図書館をどのように発展させるのか、といった方針はまた別の問題のようですので、しっかりと見守りたいと思います。</p>		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

<p>私な専門家ではありませんので、私見は控えさせていただきます。しかし、誰もが、自由に使える環境づくりという点は大事にしたいと思っています。</p>
---

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

<p>活かされていると思う点</p> <p>市民の声を生かす方向での取組が行われている。</p>
<p>活かされていないと思う点</p>

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

### お名前 安斉きみ子

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

住宅都市として落ち着いた雰囲気のある街。

緑と山里の面影を残した調和のとれた街。子ども働き盛りの人も高齢者も障がい者も生き生きと暮らせる街。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

福祉の充実を図ることが自治体の仕事です。学習・文化・スポーツは人間の暮らしを彩り、豊かな人生を築く基本的人権。自治体が支えて当然です。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

多様な市民活動を広げている。そこには社会教育施設の存在が大である。

評価できないところ

活動の場、部屋が不足している。場所とりに苦勞する。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

施設利用料金を下げる。メンテナンスを計画的に実施する。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

東寺方複合館は今年の秋にはゼロベースから見直す、ゼロベースには廃止も含むとしていたものが、只今、住民のみなさんと市とが話し合いを重ねなんらかの形で残そうというところまで通達したことはいい事だと思います。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をすとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

公民館として残すべき。館長を関戸と永山を兼務させるのではなく、それぞれに置くべき。

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。

②評価しない。

③何ともいえない。

理由

審議については傍聴したこともありますが、大変熱心に行われていました。また審議会では「地域図書館は必要」との見解をしっかりと発言された方もあり、励みになりました。

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

建物のメンテナンスは市が責任を持つこと。市は運営については利用団体の自主性に任せ、よけいな口出しはしない事。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点

公民館の市民企画講座などは市民の自主・独立が尊重されていると思います。

活かされていないと思う点

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

### お名前 橋本由美子

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしく申し上げます。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

食料品も、生活用品もすべてほかの土地で作っていただき成り立っている街です。その事への認識と感謝をもって、生活することをたいせつに考える街でありたいと思います。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

「生活をたいせつにする」、その基盤は自分の好む本を読んだり、映画をみたり、スポーツをしたり、緑を楽しんだりして心や体に栄養を与えられる街をつくること。もちろんその基本に、社会保障の充実が欠かせません。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ・・・公民館・図書館・プール・体育館など基本的な施設が一定の数作られていること。

評価できないところ・・・市民間の公平、行政改革の一環、そして歳入の確保などの言葉で、使えばお金をいただくのが当然とばかり、公共施設の使用料を引き上げたり、駐車場の有料化を進めようとするところ。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

公共施設使用料に減価償却の考え方をもち込むことはやめさせたい。定期的な料金引上げ、様々な使用するためへの負担が増加しないよう「値上げ・有料化」などには厳しい視点で異議を唱え、運動していきたい。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由・・・あるもの、利用しているものがなくなる時には、当然納得できないという声があがるかと思いますが、上記施設は存続がその地域の「文化の核」として欠かせないものであるという大きな存在意義があるので。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をすとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

<input type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由・・・健康センター内の施設等の移転とからんだ「廃止計画」は今状況が大きく変わり、なくす理由もなく、京王線の本線と相模原線の違いもふくめ、存在させることは必要だから。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

<input type="radio"/> ①評価する。	<input type="radio"/> ②評価しない。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由・・・会議前に市民の声を出す機会をつくり、それを審議会委員が参考にするなど、形式的でない意見徴収をおこなったこと。また、新たにワークショップの参加者募集もおこなわれ、より市民参加の道をひらいている点を評価。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

多摩市にあるすべての公共施設は比較的グレードも高く、一定のお金のかけられた作りになっています。その施設を長持ちさせるためには、計画的維持管理に力を入れるべきだと思います。見栄えの華やかさより、使いやすさ、利用料の低廉化などに力を入れていくことが必要だと思います。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点・・・行政も一定市民参加を重視している点。また、市民どおしが、考え方の違いを認めながら、話し合う機会を重視するようになってきた点。
活かされていないと思う点・・・自治基本条例の存在がまだ多くの市民に十分理解されていない点。

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 三井 健

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願いします。

1. まちのあり方全体についてお聞きます。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

多摩エリアの中心市として、「住む」「働く」「学ぶ」「遊ぶ」等の点で魅力あるまちとなり、東京市部エリア全体の発展・成長のモデルとなること

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。  
街づくりの中心には人があり、人づくりの中心には学びがある。自治体が地域の社会教育やスポーツ、文化活動に一定のコミットをすることは郷土心を育み、市民意識を醸成するという点で必要。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

どの地域に住んでいても、ある程度均一的なサービスを楽しむことができること。

評価できないところ

似通った機能を持った施設が近い時期に多数建設されたことから、その維持・更新が財政上の負担になっている。過去のハコモノ重視型のニュータウン政策の弊害で、各地域の特性が見えにくく、それを活かしたまちづくりがイメージしづらくなっている。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

今後、各地域施設の関係団体や利用者との意見交換をより深める中で、具体策を考えていきたい

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

地域図書館については「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続ける」という方針で問題ないと思うが、その分、「市公共施設の総床面積を減らす」という本来目的をどのように達成するかについて、より踏み込む必要があると思うため

裏面に続きます。

- (2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

市内だけでなく、市外からもアクセスが良好な施設なので、つむぎ館との機能分担・差別化を図ったうえで、何らかの公共スペース（閉鎖される永山の創業支援施設の代替など？）として存続させる方法を模索すべきではないか？

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。

②評価しない。

③何ともいえない。

理由

現在の図書館はあくまで暫定施設であり、アクセスが悪く、収蔵能力にも限界が来ている。そうした中で、恒常的な利用の少なかった中央公園との一体性を持った図書館を整備することは街づくりの観点からも望ましい。他方、それが「市公共施設の総床面積削減」という市の公共施設再編プログラム本来の目的とどのように整合できるのかは不明。

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

多様性。単純な施設機能だけでなく、運営の在り方も地域特性に応じて変化されるべき。財政の観点から、市内全域の社会教育施設をこれまで通り均一に維持させることには限界があり、公的負担を縮小（＝総床面積の縮小）させることはある程度止むを得ない。社会教育の基本は「市民が自ら学ぶこと」にあり、施設があるから社会教育が行われるわけでは本来ない。50年前と著しく異なる環境下に置かれた多摩市各地域においては、従来型の画一的なハコモノ重視の社会教育サービスの見直しは将来的な街づくりの観点からも適切と思われる。

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点

市社会教育施設の統廃合という市の将来ビジョンに関係する施策が、行政のトップダウンによることなく、地域の人々の声を吸収する形で行われている点

活かされていないと思う点

自治基本条例第6条には市民の義務として「自らの発言および行動に責任を持つ」とことと「公共の福祉、次世代及び市の将来に配慮する」ことを定めている。一般公開形式でなく、クローズド形式で、無作為に抽出されたメンバーと市担当者や議員（ないし候補予定者）がシミュレーション的な議論をするというやり方も建設的な市民参加という意味ではもっと考えられても良いのではないかと。

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前            伊地智 恭子

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしくお願ひします。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

- ・デモクラシーが生きるまち
- ・人権が尊重されるまち
- ・市民と行政と議会のトライアングルで市政が進むまち

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

地方自治・デモクラシーの基本。文化活動の福祉的側面も含めて、市民の福祉の向上という観点からも必要不可欠。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

市民への説明と情報公開がある程度積極的。文化行政の福祉的意義を認めており、特に図書館については「基本的に直営」という方針を打ち出している。

評価できないところ

情報公開を徹底し、市民参画を進めるという点では道なれば。また現実に文化施策を担う人材の確保・育成は弱いと感じる。博物館機能を含めたパルテノン多摩の運営は全面的に刷新すべき。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

図書館……7館直営で図書館行政の活性化。学校図書館との連携を強める。企業による民営化ではなく市民団体との連携で、企画やサポートなどを考えていく体制をつくる。

パルテノン……運営には民間の優秀な人材を招聘する。

全体……ワークショップよりも積極的な市民参画の仕組みをつくる。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

市民意見を一定程度受け入れ、方針を見直した点は評価したい。ただ、そのことでプログラム全体の本来の目的「総面積を減らし機能は増やす」ことは、達成度が一気に不透明になった。また、存廃の判断基準が曖昧で、最終的には市長部局の「総合的な判断」で決定されるのかという疑念も残る。市民をまじえた財政白書づくりなどの試みを重ね、まず対等な議論の前提をつくることは急務であろう。

裏面に続きます。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由 統合の是非の判断は、情報公開と市民との議論を徹底したうえですべきこと。頭ごなしの方針の立て方は図書館問題とよく似ており、承認しがたい。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由 市民委員を含めて意欲的な人材を集め、熱心な議論を行ったうえで計画を立てたことを評価する。ただし、実際に計画案の大部分は行政が作っているの、所管と委員の間で意見が食い違った場合はどうなるか？という疑問を持った。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

基本は公共による運営を堅持し、営利企業への委託はあくまで部分的かつ市民サービスの向上が見込める場合にとどめること。まちの財産となる専門家を系統的に育てること。 安易な営利企業化は却って市民サービスの低下とコスト高をもたらすことが、世界的に明らかとなってきた。むしろ各所管で「多摩市の専門家」である職員を育て、相互有機的につながることによって、今求められている横断的・包括的な取り組みが進化するのではないか。文化行政にとどまらずすべての事業において、仕事のパーツ化や官製ワーキングプアを生む非正規使い捨て体制は、市民と職員双方に利をもたらさないと考えている。
---

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点 市民説明会やパブリックコメント募集などはいねいに行っている。
活かされていないと思う点 「説得型説明に終始しているのではないか」という批判は往々にして避けがたい。 市民参画の手法を進化させる上で、行政や議会が持つ決定権と市民の権利についてどう考えるかが今後の課題となるだろう（今はそこまで到達していないが）。単純なルールを作れることではないが、いざれ考えなくてはならなくなると思っている。

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

名前 大野 まさき

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしく申し上げます。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。

市民それぞれの思いや多様性を認め合いながらも、おたがいさまに支え合い、抱える課題について真面目に向き合い対応していくまち。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。

自治体として市民の学習・文化・スポーツ活動に対して公共サービスとして支え、責任を持つことは必要。しかしその中身を全て市が丸抱えで全面的に支えるかどうかの是非については、サービスや活動内容によって議論は必要ではないかと考える。例えば本市の図書館サービスについては市長や市民の多くが望む通り直営で行うべき。一方それが成り立つためのサービスの規模については議論が必要であると考える。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

行政側だけでなく市民力の高い市民が熱心に取り組んでいるところ。

評価できないところ

社会教育分野とパルテノン多摩との連携など、今後は取り組まれるだろうが、現状ではあまりその連携や相互の交流が活発には見えていないこと。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

パルテノン多摩改修中の期間を活かして相互の連携で行う事業や、ハコは違っても展開する事業を増やす。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の(1)(2)にお答えください。

(1)「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

当初の計画については、廃止とする施設があることは市民から見ると唐突感があることは否めないし、計画を作成する段階から市民参加を行う工夫、市財政について共にどう考えるか情報や課題の共有化を進めておく等の取り組みがなされるべきであったと思う。しかし、財政の問題自体がなくなった訳ではないので、その面からするとプログラムを一旦立ち止まる箇所があったとしても、将来の財政問題の解決に向かって具体的な取り組みを進める必要もあるとも考えるため。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由		
公民館という形式でなくなったとしても、市民利用自体を疎外しない施設であり続けるならば、絶対的に悪いとまでは言い切れないから。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由		
市民からの意見徴収や審議に市民代表や公募市民委員が入ったことは評価したい。しかし、本館が22年秋の開館めざして準備が進む一方、地域図書館についてどうなるのか、また、市の図書館全体のあり方については明確にされていない。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

公共サービスを行う市としての公の責任。しかしそれが即ち全て市直営ということを目指すということではない。例えば図書館は全て直営だとしても、他の分野については市が責任を持ちつつ、担い手は必ずしも民間事業者等が担当していけないということではない。
--

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

活かされていると思う点
第3条（4）参画について、特に社会教育施策について、市民の皆さんの積極的な参加・行動が見られる。
活かされていないと思う点
①第6条「市民の義務」での「次世代及び市の将来に配慮する」ことに関しては、将来の財政や人口減少の観点から、現在ある公共施設や規模をそのまま市直営で維持して残して欲しいという立場の市民からの説得力がある声としてはあまり聞こえてこない。
②第3条（5）「協働」が必ずしも十分にできているとは言えないのでは。

## 多摩市の社会教育施策等に関するアンケート回答書

お名前 大くま 真一

2019年4月21日の多摩市議会議員選挙にあたり、立候補予定のみなさまに多摩市政 — 特に社会教育施策について質問させていただきます。回答につきましては、3月31日（日）の対話集会において公表させていただきますのでご了解ください。なお立候補を予定でない現職市議の方も、是非、今後のためにご回答をいただきたくよろしく申し上げます。

1. まちのあり方全体についてお聞きします。

あなたは多摩市をどのようなまちにしたいと考えていますか。  
誰もが生き生きと幸せに暮らし続けられる街。

地方自治体が市民の学習・文化・スポーツ活動を支える意義をどのように考えていますか。  
住民の要求を実現することで住民福祉の向上を図ると同時に、自治の基盤を作るものだと捉えています。

2. 多摩市政 — 特に社会教育施設の現状 — について、評価できるところとできないところをお書きください。

評価できるところ

地域の図書館など様々な施設があり、市民が積極的に利用しているところ。

評価できないところ

ニュータウンに比べて既存地域には少ないなど配置にばらつきがある点は課題。使用料についてもより低廉にし、市民の利用を高めることが必要。

3. あなたは2.の回答で指摘したことに関して、今後の施策としてどのような具体案をもっていますか。

使用料を引き下げる。施設を拡充する。様々な施設やサービス、講座などの情報を市民に直接提供し、つないでいくコンシェルジュ的窓口をつくり、市民活動を支援し活性化する。

4. 2016年11月、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が更新されました。これに関し、以下の（1）（2）にお答えください。

（1）「プログラム」の更新では聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。現在、豊ヶ丘地区と東寺方地区では、図書館を含む複合館の今後について、それぞれの地域で市と市民との話し合いを重ねています。また「図書館友の会」も発足し、活動を展開しています。市が当初の「廃止」計画を変更した、「プログラム」の更新内容についてどのように考えますか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由

具体的に市民との対話が始まっている点については評価している。市民の願いとしては明確に「存続」が求められているので、存続を前提とした対応策の検討を進めていくべき。単独の施設だけの問題ではなく、新たなニーズや役割も含めて、地域全体をどう設計していくのかという検討も必要だと思います。

裏面に続きます。

(2) プログラム」の更新では、関戸公民館については「移転・統合に向けた…(略)…課題整理」をするとし、利用者にも市民全体にもあり方を直接問わないまま「廃止」の方針を継続させています。毎年1月末に行われている「地域ふれあいフォーラム」がますます賑わいを増している状況の中で、「プログラム」の更新では未だに関戸公民館の「移転・統合」が掲げられていることをどのように考えますか。

①賛成である。	②反対である。	③何ともいえない。
理由 現在のニーズや必要とされる新たな役割などについて把握をし、検討をすることが必要。既存地域には公共施設があまり配置されていない現状もあり、そうした観点からも地域の要望を子細に把握する必要がある。		

5. 多摩市立図書館本館の「再構築基本構想」が2017年2月に、「再整備基本計画」が2018年8月に策定されました。これらの審議は市民団体代表や市民公募委員も加わり、また市民からの意見徴収もおこなわれました。今年2019年1月には基本・実施設計業者が決まり、2022年秋の開館に向けて施策が進んでいます。このような図書館本館の再整備に向けた教育委員会の取り組みについてどのように考えますか。

①評価する。	②評価しない。	③何ともいえない。
理由 長年市民が求めてきた、中央館機能を有する図書館本館になるということで評価している。地域館との連携をより強め、市内全域で市民サービスをより充実させるものになってほしい。リファレンスや地域資料の保存・活用などについても期待している。		

6. 多摩市の社会教育施設（公民館、図書館、文化ホール、博物館、児童館、スポーツ施設等）に求められる「質」と「管理・運営」に関して、何が最も大事にされるべきだと考えますか。

住民の福祉の向上及び自治の基盤を作るものなので、当然「質」を高め、適正な「管理・運営」を市が責任をもって進めていくべき。経費削減といって民間委託する流れがあるが、本来の役割からして、営利化することには問題がある。
--

7. 多摩市の最高規範の条例として「多摩市自治基本条例」があります。多摩市の社会教育施策に、この条例が活かされていると思う点、活かされていないと思う点について、今後の対応方法も含め、お書きください。

<p>活かされていると思う点 市民による様々な活動が活発に行われていること背景には様々な社会教育施策があると思います。直接的に自治基本条例が活かされているということではないかもしれませんが。</p>
<p>活かされていないと思う点 行動プログラムで身近な公共施設の削減がいきなり提示されたことは問題。現在、新たな対話の枠組みが作られ検討が進められているが、いまだに廃止を選択肢に入れて話を進めている点には不自然さを感じる。存続を前提としてさらに対話を進めることが必要。</p>